柱本小学校・三石小学校の再編統合（概要）

1. 再編統合による新しい学校

(1)望ましい学校規模の方針（小学校）

規模	基本的な考え方
1学年 2学級以上	子供が多様な学習形態で学び、多様な考えに触れることで、思考力、表現力、問題解決力等が育まれ、急激な社会変化に対応できる力を身につけるために、各学年2学級以上が望ましい。今後、1学級の学年が生じている学校が、さらに縮小することが見込まれる段階で統廃合の検討を始める。

(2)柱本小学校と三石小学校の児童数等の推計

		R8	R9	R10	R11	R12	R13	※R14
柱本小	児童数	90	87	82	72	65	59	52
	通常学級数	6	6	6	6	6	5	5
三石小	児童数	246	240	235	223	205	192	169
	通常学級数	11	10	9	8	7	7	6
計（児童数）		336	327	317	295	270	251	221

（R14年度時の児童数・クラス推計）

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
柱本小	児童数	6	5	7	8	12	14	52
	通常学級数	1	1		1	1	1	5
三石小	児童数	19	20	26	31	38	35	169
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6

※通常学級数に特別支援学級の数は含まれていません。

(3)新しい学校に向けて

柱本小学校	三石小学校
◎学校教育目標 「確かな学力を身につけ、主体的に行動できる心豊かでたくましい児童の育成」～よく学び、よく遊び、思いやりのある子の育成～ **◎研究主題** 「主体的・対話的で自ら学びを深める児童の育成」～教師の「しかけ」と支持的風土ある学級づくり～	**◎学校教育目標** 「人権教育を基礎に据え、徳・知・体の調和のとれた児童の育成を目指す」～ふるさとを愛する心を育み、持続可能な社会を創り出すこどもの育成～ **◎研究主題** 「すべての児童が『わかった・できた・楽しい』を実感できる授業づくり」～個別最適な学びと協働的な学びを意識して～

＜新しい学校の考え方＞　”両校の強み、特色ある教育のハイブリッド化”
”「どんな学校をつくるのか」というビジョンの共有”
”「新しい土壌で、さらに大きなものを育てる」というステップ”

＜一番大事にしたいことは＞　子供が中心となる学校づくり

＜新しい学校の校名は＞
新たな教育の場、地域コミュニティを創る重要なプロセスです。
そのため　**⇒新しい学校の校名は、『新しい学校名とします』**
ただし、「柱本小学校」及び「三石小学校」は校名候補に含めない形で協議します

2. 柱本小学校区の通学支援

(1)紀見ヶ丘ルート

別紙 「スクールバス(紀見ヶ丘ルート参照)」

(2)光陽台ルート

別紙 「スクールバス(光陽台ルート参照)」

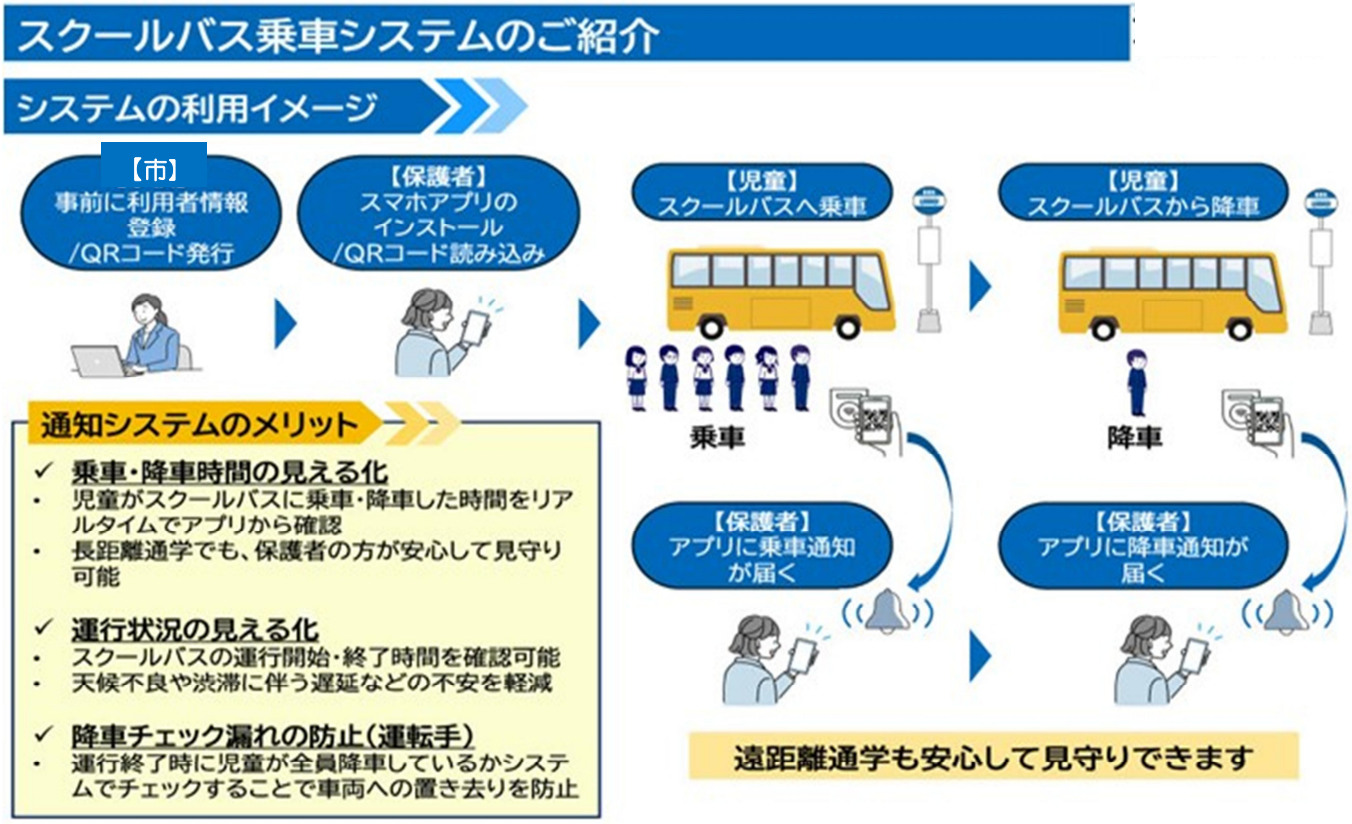
(3)学校の乗降場

学校の乗降場を新しい学校(現三石小学校)のグラウンド内に設置します。



(4)スクールバス乗降システム

スクールバスの運行に併せて、児童のバスの乗降が確認できるシステムを導入します。



3. 児童ケア

(1)児童の環境変化への対応

児童や保護者のメンタルケア	再編統合に関して、児童・保護者が期待していること、心配に感じていることを調査するためアンケートを実施します。アンケート結果を踏まえ、日々の学校における児童の様子なども含め、学校と教育支援センターが連携し、児童ケアに丁寧に対応していきます。
学校間交流	再編統合前から不安の軽減と子供の交流などを目的に学校間交流に取り組みます。
不登校・不登校傾向の児童に対する支援	児童一人ひとりの不安に寄り添えるよう、学校間で情報共有をより丁寧に行います。また、気軽に相談できる環境やヘルプサインを出しやすい環境を整えます。

(2)支援学級の児童に対する支援

子供たちの健やかな心身の成長・発達を願い、生まれてから義務教育卒業まで、専門職員、保護者、園、学校と連携し、必要な支援の内容を相談する機会を設けています。

一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、可能性を最大限に発揮させ、将来の自立や社会参加のために必要な力を培うという視点に立って、適切な指導や必要な支援を行っています。
再編統合にあたっては、学校が保護者と面談し、学校間で丁寧に引継ぎを行い、児童が新しい学校において、安心して学習を受けることができるよう努めていきます。
通学方法について、特段何らかの対応策を決めていることはありません。ただし、児童の状況等については、別途、個別にご相談を受けたいと考えています。

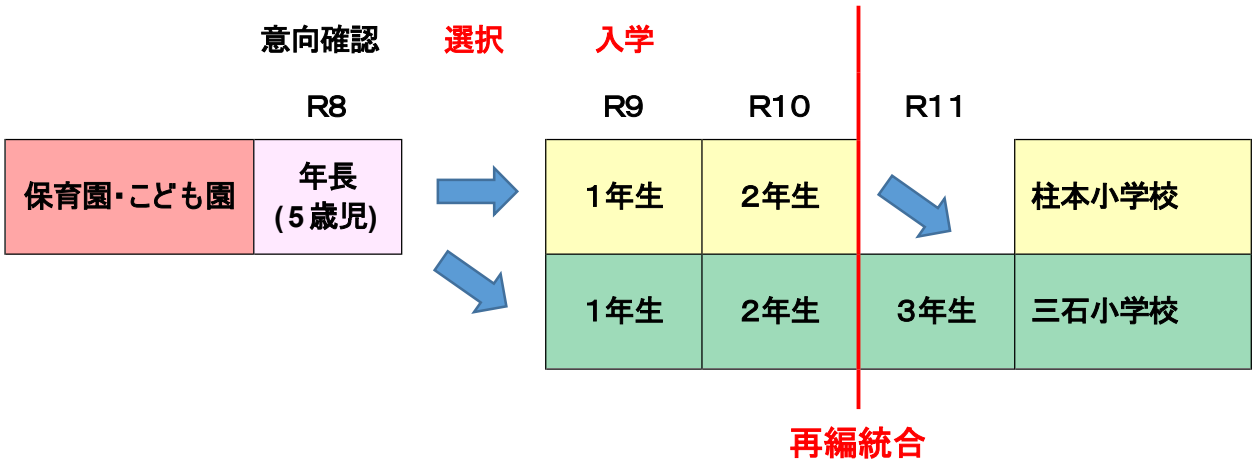
4. 保護者の負担軽減（通学帽子や体操服などの費用負担）

再編統合がなければ発生しない保護者負担（買替の費用等）は原則、市の負担とします。

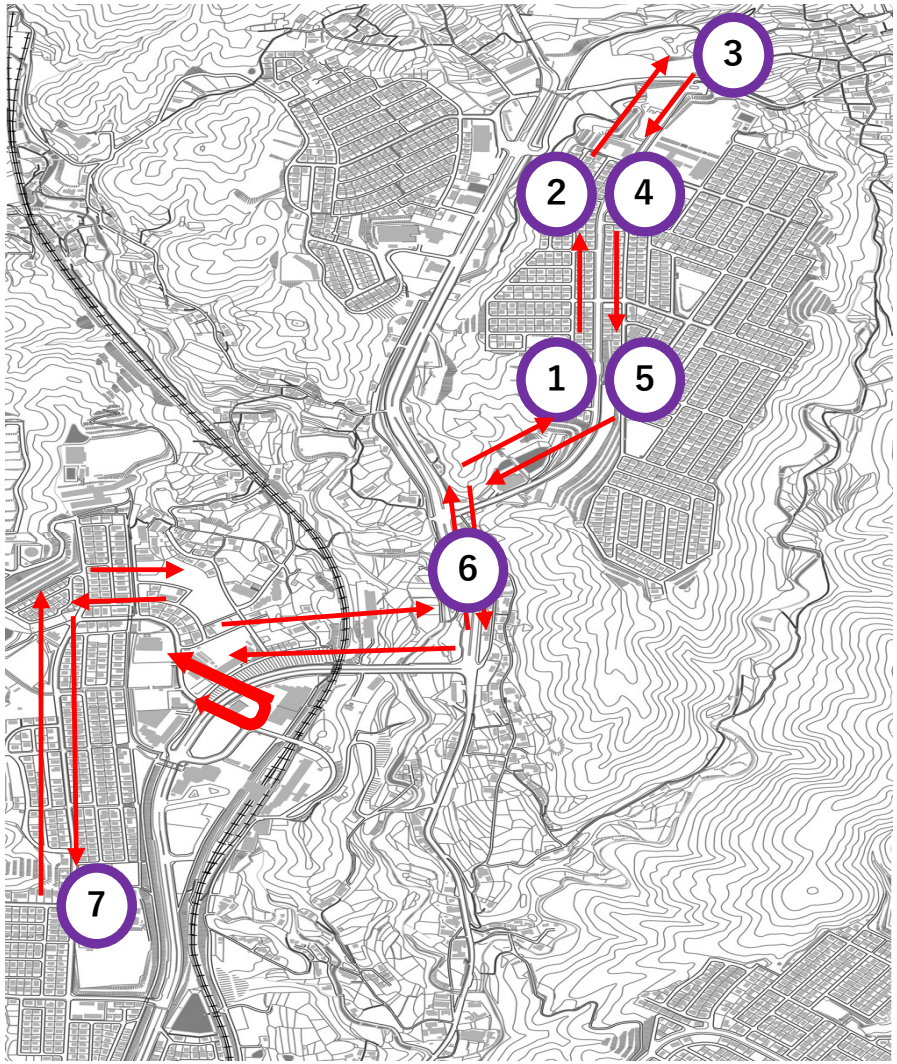


5. 再編統合前の学校選択

入学後すぐに学校が変わることによる負担を軽減するため、再編統合2年前の令和9年度以降に柱本小学校に入学する「新入生」と、「新入生のきょうだい」に限っては、柱本小学校か、三石小学校を選択できます。この場合の学校までの送迎や入学するための負担は保護者負担となる旨、ご留意頂いた上での選択となります。



スクールバス 紀見ヶ丘ルート（マイクロバス1台）



想定地区：柱本、慶賀野、紀見ケ丘

バス規格：マイクロバス（最大27名）

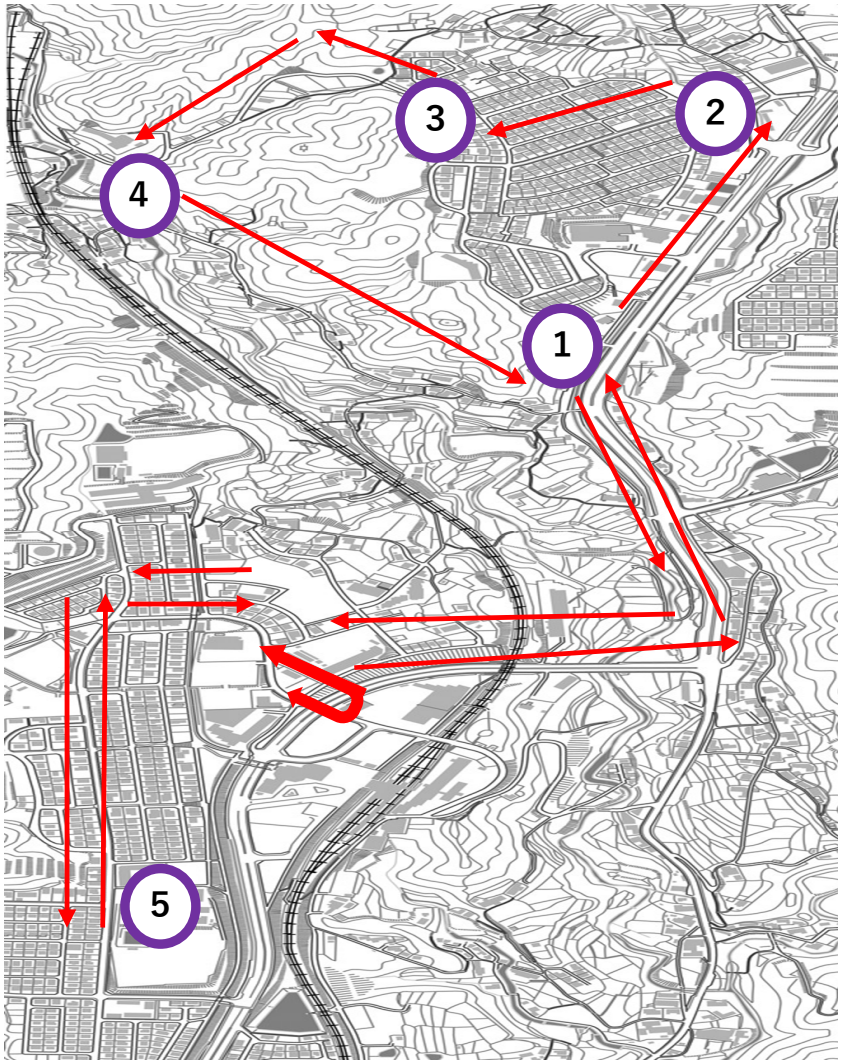
停留所：7か所（三石小学校含む）

便数：行き2便、帰り3便

ルート：紀見北地区公民館前を経由して小学校へ行き来します。

その他：慶賀野は道路東側のみで乗降

スクールバス 光陽台ルート（マイクロバス1台）



想定地区：光陽台、矢倉脇、柱本

バス規格：マイクロバス（最大27名）

停留所：5か所（三石小学校含む）

便数：行き2便、帰り3便

ルート：紀見北地区公民館前を経由して小学校へ行き来します